

# ベトナム学会報告書

群馬大学 理工学府 電子情報部門 小林研究室  
M1 神山雅貴

## スケジュール

2014年10月

21日(火)	成田発 ホーチミン到着 4S_AVIC2014に参加・ウェルカムパーティー参加
22日(水)	4S_AVIC2014 Plenary Session 見学 Banquet 参加
23日(木)	4S_AVIC2014 Session 発表・見学 打ち上げ
24日(金)	(4S_AVIC2014)ツアーに参加 ホーチミン市内観光
25日(土)	帰国

## ベトナムについて

ホーチミンに到着し、まず驚いたのが交通量でした。バイク移動が生活の基本となっているので数が多く、また高級車や観光客用のタクシーなども走っているため、道路は途切れることはありません。こうした背景もあり、排気ガスなどで少し空気が悪かった印象を持ちました。海外に行くとマスクをしている人は感染者だと思われるため、海外でマスクをしている人はいないと聞いたことがありますが、ホーチミンでは多くの方がマスクをしているため普通にマスクをすることができました。ちなみに、バイク運転者のマスクは一般的な白いのではなく、ファッション性を取り入れたおしゃれなものが多くありました。



道路の様子

会場近くは、市場やカフェの他に高層ビルなどもあり大変栄えていました。また、建設途中のビルや工事なども行っており、まさに発展している国だと感じました。

ベトナムは、5～10月が雨季。普通に過ごすだけでも暑かったのですが、雨が降ると湿度が上がり蒸し暑くなりました。また、30分ぐらいの短時間に大量の雨が降るスコールに何度か遭遇しました。日本では大騒ぎになるような量が降っていました。ベトナムの人は傘を持ち歩く習慣が無いようで雨宿りかカップでしのぐのが普通のような感じでした。



高層ビル



スコール

## 学会について

学会は、4S と AVIC2014 の二つの学会を共同で開催されたものであり、大変多くの人に参加されていました。セッションの合間にコーヒープレイクをはさみながら、まるでパーティーのような楽しい雰囲気で行われていました。

自分の発表については、英語での発表でうまく伝わっていないのではないかと感じる事があったので、力の無さと努力の必要性を感じました。しかし、この学会へ向けての努力やこの場で得られた経験は日本では得られない貴重なものになりました。

## 最後に

今回の旅行は大変思い出に残るものでした。初の海外、初の英語での発表など初めてのことが多く、良い経験になりました。住む環境の違いや言語の問題によりうまくいかないこともありましたが、それも自分を成長させるための要因になればと考えています。このような機会を与えていただけたことを感謝しています。



教会前での集合写真

発表論文

Masataka Kamiyama, Oki Daiki, Kawauchi Satoru, Banba Seiichi, Takahashi Nobuo,  
Dan Toru, Congbing Li, Haruo Kobayashi,  
“Multi-Band CMOS Low Noise Amplifiers Utilizing Transformers”,  
The 3rd Solid State Systems Symposium-VLSIs and Semiconductor Related  
Technologies & The 17th International Conference on Analog VLSI Circuits,  
Ho Chi Minh City, Vietnam (Oct. 22-24, 2014)